

講義名	対)野外教育活動演習（キャンプ実習）			
担当教員	内田 遼介 / 山口 志郎 / 大島 秀武			
開講期・曜日・時限	前期集中 その他 その他		授業形態	演習
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考
主題と概要				
新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、レジャー活動が制限される中、登山やキャンプといった野外活動は、密集を避けながら自然を満喫できる点から注目されている。矢野経済研究所（2020）によると、2019年の国内野外（アウトドア）市場規模は、前年比3.2%増の5,169億4,000万円と推計されている。近年は、グランピングやソロキャンプといった新たな形態が登場するなど、今後も野外（アウトドア）市場は拡大していくことが予想される。一方で、自然環境を舞台にする野外活動は危険と隣り合わせであり、常にリスクを認識しながら活動を行う必要がある。 本演習で実習を行うロゲイニングとは、コンパスと地図を持ち指摘されたポイントをまわり、いかに多く得点を獲得するかを競うナビゲーシヨンスポーツであり、チームでコミュニケーションを取り合いながら課題解決を行う点が特徴といえる。そこで本演習では、自然環境での野外活動（ロゲイニング）を通じて、コミュニケーション能力や課題解決能力を身につけることを目指す。学内外での研修を通じ、自然環境の中で他者と協力し課題解決するプログラムを通して、自ら行動する力や共助する力を養う。				
到達目標				
この科目は、「対面型」で実施します。到達目標の達成のためには、授業形態や扱う教材等の関係上、対面型での授業が望ましいためです。「オンデマンド型」ではありませんので、時間割通りの時間帯に指定された教室で授業に参加してください。なお、新型コロナウイルス感染症等の学校感染症への感染者または濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止となった学生には、個別に対応します。 自然環境での生活を通じて、自ら判断し行動することができる。 グループワークを通じて、仲間と協力して助け合い、手助けできる。				
提出課題				
実習レポート ハイキングマップ				
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック				
活動の内容に応じて個人またはグループに対して講評を行います。				
評価の基準				
取組状況・・・80％ 提出課題・・・20％				
履修にあたっての注意・助言他				
<授業計画に関して> 8月5日(木)9：00～14：30（予定） 最初の3回は教室内で行います。 8月6日(金)9：00～16：00（予定） 学外研修 は再度公園、神戸市立森林植物園周辺で実施します。 8月18日(木)7：30～18：00（予定） 学外研修 は六甲山の山頂周辺で実施します。 8月19日(木)9：00～12：10（予定） ハイキングマップの作成は教室内で行います。 天候不良やその他の事情によって学外研修の日時や場所を変更する場合があります。変更する場合は事前に受講生に案内するようにします。				

教科書				
.使用しない。				
プリント資料及び参考文献				
<プリント資料> 講義に必要な資料は当日配布します。 <参考文献> なし				
授業計画				
1 登山が身体的健康に及ぼす効果について 2 野外教育の心理的效果について 3 登山のリスクとリスク対策について 4 学外研修：地図の読み方 5 学外研修：緊急時の対応方法 6 学外研修：ロゲインングの基礎 7 学外研修：ロゲインングの実践 8 学外研修：課題設定 9 学外研修：ロゲインング 10 学外研修：ロゲインング 11 学外研修：課題設定 12 学外研修：ロゲインング 13 学外研修：ロゲインング 14 オリジナルハイキングマップの作成 15 オリジナルハイキングマップの作成、発表・総括				
授業形態（アクティブ・ラーニング）				
○ ア：PBL（課題解決型学習）			イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
ウ：ディスカッション、ディベート		○	エ：グループワーク	
オ：プレゼンテーション		○	カ：実習、フィールドワーク	
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）				
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間				
<予習> 各自に指定する資料を熟読し、要点をまとめておくことを求めます（1時間程度）。その他、学外研修当日までに、指定された用具を準備すること、ロゲインングについて知識を深めておくこと、野外教育活動がもたらす身体的効果・心理的效果について理解すること、野外活動のリスクについて理解することを求めます（1時間程度）。 <復習> 毎時間終了後に、講義中に学んだこと、学外研修で経験したことを大学生生活に活かす方法について考えることを求めます（2時間程度）。				
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
<学科共通> ますます高齢化社会が進む現代社会において、子どもから高齢者までの広範囲にわたる健康分野に関する基礎知識を身につけ、健康関連産業やスポーツ関連産業で就業することができる。 到達目標、の達成は当DPに直接的に関与しないが、野外活動を通して、アウトドアでの行動スキルを養うことができる。				
<スポーツマネジメントコース> 「する」「みる」「ささえる」の視点で、スポーツをキーワードとする関連事業分野、業種において企画運営に携わることができる。 到達目標、の達成により、野外活動運営を通して、企画運営能力を養うことができる。 健康課題やスポーツ産業などの多様な社会的背景と今後の課題と対応策について、分析、評価、企画を行うことができる。 到達目標、の達成は当DPに直接的に関与しないが、野外活動を通して、様々な現状における課題とその対応策などについて分析評価できる。				
<スポーツ健康コース> 地域貢献活動などのフィールドワークを通して身につけた、幅広い年齢層に対応できるコミュニケーション能力やリーダーシップ力、マネジメント力を発揮することができる。 到達目標、を達成することで、他者とのコミュニケーション能力向上に繋がりが、リーダーシップ力、マネジメント力を発揮できるようになる 健康保持・増進やスポーツパフォーマンス向上などのための理論や指導法を学び、それを通じて身につけたプレゼンテーション能力に基づく効果的な指導ができる。 グループ活動の多い科目内容であるため、到達目標、の達成に伴い、個人の意見を他者へ伝えるプレゼンテーション能力向上に貢献できる。				
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
なし				
実務経験の有無及び活用				
なし				
備考				
なし				